

市内各地区では、まちづくり推進会議(会)や連合町内会、生涯学習推進 会など、さまざまな団体による主体的なまちづくり活動が活発に行われてい ます。

でも、活発な活動を未来に向かって続けていくのには、少し不安な点も…。 今回は、そんなまちづくり活動を取り巻く「今」と「未来」について、ま ちづくり活動を応援するキャラクター「チカラコブタ」くんが紹介します!

連携・協力して決めら

まちづくり活動応援キャラ クター「チカラコブタ」くん

団体を中心に、活発に行われています

しかし、少子高齢化・人口減少社会の到来や

景により発生した課題が、地域コミュニティの ライフスタイルの多様化などさまざまな社会背

に影響を及ぼすことが心配されています。

やっぱりみんなの力が大事コブね!



つながっていくことで、 地域のために活動する人同

まちの

たものごとを進める場のことです。

が、地区のことに関心を持ち、「み ためには、あらゆる世代の人たち なコミュニティ活動を続けていく んなで決めよう!」「みんなで 人口減少社会を迎える中、 と行動していくことが 士が

まちづくり活動は、

でものごとを決めていく場のことで、「協働 地区に住む多くの住民がかかわり、話し合いの 大事と言われています。「参加」の場は、 多くの住民・団体がそれぞれの長所を 「参加」と 「協働」 の戸惑い」といった課題が挙げ 「活動のマンネリ感」 「団体運営 「役員のなり手などの人材不



ちょっぴり気がかり…



各地区のまちづくり活動は、さまざまな地区



若い人もまちづくり に参加してコブ!

講座を受講した

まゆみ

(宮島)

ヤマシタ

さん

をすること」で、家族や友達、 れしかったりします。つまり、 わからないなんて思っていませんか? 例えば、祭りでみこしを担ぐとワクワクした 一まちづくり 焼きそばをみんなでつくって売れたらう って、 何か難しい まちづくりへの第

るかもしれません。 することができるかもしれません。 ているごみを拾ったりすることから始めません まずは、住んでいる地区を歩いたり、 そこから、 地区の魅力や課題が見えてく 「みんなで何か 地域を元気に 落ち (X)

みんなの力で まちの未来を

人一人ができることから始めませんか? 【まちづくり活動地区人材育成講座 地区活動に積極的に参加していきたい 受講者の声)

の入り口に足を踏み入れています。 そのときすでに、皆さんは まちづくり まずは 元気にするコブ

よく

現在、各地区のまちづくりでは、町内会 いまちづくりのか 区

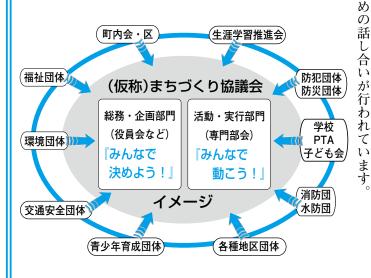
まちの未来を元気にしていくため

〜地域のチカラコ部長から〜

りなどのイベントを行ったり、地区で抱える課題 文化祭などを行う生涯学習推進会などの各種 の解決策などを検討したりしています としてまちづくり推進会議(会)があり、地区の祭 体が活動しています。それらの団体の連携の場 長の集まりである連合町内(区)会と、体育祭や

)団体同士のつながりをさらに強めるかたちに

ながりをさらに強めていくための場を設け ちづくり推進会議 くり活動を元気に続けられるように、昨年3月 (仮称)まちづくり協議会」 この計画の一環として、 市は、 「地域の力こぶ増進計画」 未来に向けて、主体的で活発なまちづ 会 から、 市内の各地区は、 を策定しました。 へ発展していくた 団体同士の横の た ま つ



講座の様子

いる人たちを知りました。

住みやすいまちにするために、

地

区役員と話し合いをしたり、

地区の

三世代交流大集会に参加したりする

まちづくりのために頑張って

に参加しました。

講座で若い人や地

地区の行事などに興味があって講座

私は、

自分の子どもが参加できる

ながりを大切にしていきたいです。 区活動に積極的に参加して、人とのつ

加納

市民部長



ても元気に行われています。 たとおり、 今 回、 「チカラコブタ」 現在、 各地区のまちづくり活動はと くんが紹介してくれ

区のために頑張っている人から、 ろよりも弱まってきているように感じます。 をやる以外に手が回らない」といった声も聞かれ ってくれる人が減った」とか、「毎年同じ行事 、近所に住む人同士のつながりがひとこ 「一緒に頑張

今後も続けられるかという不安もあります。 進展などにより、 そこで、市は さらに、 人口減少とともに、 「地域の力こぶ増進計画」 今の元気なまちづくり活動を 高齢化の急速な

組みを提案しました。まちの未来を元気にして くための「人づくり」についてさまざまな取り や**「場づくり」**、活動に携わる人をふやしてい 定し、地区の皆さんが活動しやすい「環境整備」 づくり活動に積極的に参加してください。 いくため、 緒に取り組んでいきますので、これからもまち この計画をもとに、 地区の皆さんと

